

武川町柳澤地内

壙場遺跡



現地説明会開催のお知らせ



顔面把手付土器
(49号住居)



調査区全景（北から）



右：土偶（12号住居）
お腹が大きく出っ張り、
”しゃがんだ”姿勢である
ことから、妊婦が出産する
様子を表現していると考えられ
ます。全国的にも非常に珍しい
出土例で、注目を集めています。
説明会にてご覧いただけます。

令和6年

8月24日〔土〕
午前10時～12時（雨天中止）

場所：発掘調査現場に現地集合（下地図参照）

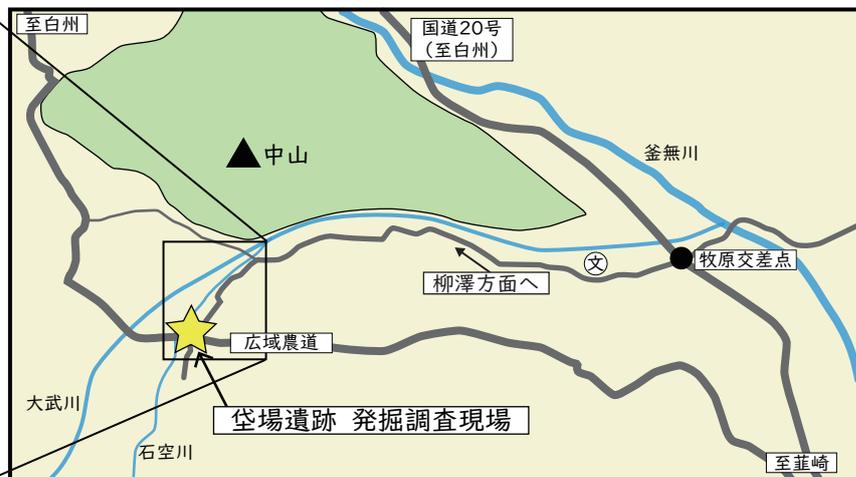
- ※ 帽子や水分をご持参の上、熱中症には十分ご注意ください。
- ※ 汚れてもいい服装でお越しください。
- ※ 駐車場には限りがあります。なるべくお乗り合わせでお越しください。

壙場遺跡は、縄文時代中期（およそ5,000～4,500年前）を中心とする集落跡です。数多くの
竪穴住居跡とともに県内でも珍しい顔面把手付土器や土偶などが出土しています。

発掘調査は9月末で終了し、ほ場整備工事が
始まる予定です。遺跡の様子を見学することのできる
最後の機会となりますので、ぜひお越しください。



発掘調査現場 拡大図



壙場遺跡 発掘調査現場 位置図

主催：北杜市教育委員会学術課 協力：北杜市南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会
【お問い合わせ】北杜市教育委員会学術課（文化財担当）生山 電話：0551-42-1375